

元・東京都議会議員(町田市選出)
町田市長選挙2022惜敗

無所属で
再出発



おくざわ 高広



《買物支援の取組がタウンニュースに掲載》
障がい者の能力や特性を活かして、地域の課題解決に
チャレンジしています！

今年の5月に相原の都営武蔵岡アパートで開始した買い物支援の取組
をタウンニュース町田版(7/25号)に取り上げていただきました！

武蔵岡アパートには、700世帯を超える方が住んでいますが、近隣にスーパーなどが
無い、いわゆる買い物難民が多数いるエリアです。特に、その約1/3の250世帯が単身
高齢者ということもあり、買物だけでなく移動支援や見守りの充実が必要です。

都議を務めていた頃から、この地域の困りごとを聞き、コインパーキングの設置に奔
走したり、大学生が住めるようにルールを変えるよう求めてきましたが、行政の支援だ
けでは乗り越えられない壁もありました。議員ではない今だからこそ、町田に暮らす一
人の市民として、地域の課題解決に取組みたいという想いをもち続け、買い物支援や見
守りを行う事業をスタートできたことはとても嬉しいことです。

私の運営するクロニクルワークス町田相原は、障がいのある方の働く就労継続支援B
型事業所でもあります。障がいのある方が地域の中で役割を持ち、周囲から感謝される
ような仕事をするには、社会全体の幸福度を高めることにもつながっていきます。
近年“地域循環型経済”という考えが広がっていますが、私は“ありがとう循環型コミ
ュニティ”をつくりたいと思っています。経済つまりお金がまわることも大切ですが、
それと同じくらい、地域の中で人の輪がで、笑顔があふれる地域づくりも大切にする
取組を実践していきます。

事業所開設に力を貸してくださった皆様、ご理解をいただいている地域の皆様、あり
がとうございます。これからもご指導のほど、よろしく申し上げます。

おくざわ高広サポーターズでは、
価値観やライフスタイルが多様化する令和の時代にあって
町田市に暮らす43万人“一人ひとりの幸せ”がかなう未来へ向けて、
共に活動する仲間を募集しています

1. 一人ひとりを支え、伸ばす“共育都市”

子ども一人ひとりを地域全体で育み、誰もが共に支えあい、成長しあう町田へ。

2. 新時代の商都をつくる“創発都市”

官民の連携・共創により、まちの魅力を高め、新たな価値を創造・発信する町田へ。

3. 高齢者も障害者も安心して暮らせる“超福祉都市”

従来の福祉や医療に最新のテクノロジーを組み合わせ、誰もが安全安心に暮らせる町田へ。

4. 文化・スポーツ・自然が息づく“感動都市”

都市の利便性と自然の豊かさが調和し、感動=ワクワクと暮らしやすさが共存する町田へ。



「相性良く」買物難民支援

相原町 就労支援所が商店

相原町の団地で障害者による高齢者支援が進んでいる。高齢の独居住民が多いとされる相原地区の都営団地「武蔵岡アパート」。近隣に買い物できる場が限られるなか、障害者が通所する就労継続支援B型事業所が団地で野菜・惣菜などの販売を5月に開始。買い物代行や弁当の配達なども行い、高齢住民を助ける。

もつすぐ3カ月

900を超える戸数を数える「武蔵岡団地」。鉄道駅から離れ、周辺にはコンビニとドラッグストアが1軒ずつしかないなか、団地敷地内で野菜・惣菜の販売を始めたのは、就労支援事業所であるクロニクルワークス町田相原が運営する「むさしおか商店」。平日の毎日、弁当を配達し毎週火・木曜日に店舗で野菜などを販売。オープンからもうすぐ3カ月となる現在、賑わいを見せるようになってきている。

店舗を訪れた住民の心

「これは「これまではバスに乗り、相模原市にあるスーパーまで出かけていたが、ここで野菜が手に入ると聞き、来店した」と話し、むさしおか商店で弁当を購入するようになったという男性は「毎日のようにお願いするようになった。おいしいよ」と微笑む。

クロニクルワークス町田相原を立ち上げた株式会社クロニクルの代表取締役、奥澤高広さんは「店先にある椅子でひと休みされる高齢者もみられるようになった。独居の高齢者が多い団地。見守りにもつなげていきたい」と意気込む。

「好循環を」

業務にあたる障害者にとつてもむさしおか商店で作業にあたることはプラスなっているようだ。奥澤さんによると、障害者が働くうえで壁となることの1つが、業務のスピード。素早い作業を求められる職場では対応できずに力を発揮できなくなる障害者が少なくないというものの、むさしおか商店での接客はゆっくり丁寧な対応を好みが高齢者と対面することが多く、「相性」が良いのだという。

利用者に商品の梱包、販売や買い物代行などの業務を任せているという奥澤さんは「普段、支援されることの多い障害者にとつて、『ありがとう』と喜んでもらえることはやりがいにつながっていると思う。このような好循環を生んでいければ」と力を込める。

そして、今後は店の周知を進め、障害者が高齢者を支援する事例として確立させていきたい思いもあるという。「町田からそのようなモデルケースを発信していければと思います」と話している。



店頭に並ぶ地元で採れた野菜など

接客にあたる「むさしおか商店」スタッフ(左・上写真)



同商店スタッフと買い物代行の商品を届ける奥澤さん(左)

一緒に働く利用者さん
募集中です

《おくざわ高広プロフィール》

- 1982年5月1日 栃木県佐野市生まれ
- 慶應義塾大学法学部政治学科卒業(体育会野球部ヘッドコーチ)
- 三菱地所(株)、学習塾・通信制サポート校、衆議院議員秘書を経て、東京都議会議員一期
- 都議会では、会派「無所属 東京みらい」幹事長や都市整備委員会副委員長などを歴任
- 2022年 町田市長選挙にて31,011名にご投票いただくも惜敗
- 現在は、障がい福祉施設 代表者、教育系NPO 理事、#行き先は町田 編集長など、町田市の魅力向上に全力!
- 著書に、町田の魅力と未来像を描いた「町田独立宣言」



にて取り上げていただきました。

発行元:チーム町田みらい 連絡先: team.machida.mirai@gmail.com

